

— あの歌が詠まれて1350年 —



3.17 (日)

13:30 ~ 15:30
(受付 13:00 ~)

あかね文化ホール

トーク&コンサート

宝塚歌劇団で演じられている『あかねさす紫の花』にまつわる東近江の万葉ロマンについて、現宝塚市大使の二人が語ります。



榛名由梨 (はるなゆり)

初代中大兄皇子役を演じた、
元宝塚歌劇団月組のトップスター。



前川裕美 (まえかわゆみ)

宝塚出身の盲目の音楽家。
ファン目線から宝塚の魅力を語る。

主催：東近江ムラサキ紫織プロジェクト・蒲生地区まちづくり協議会

後援：滋賀県・滋賀県教育委員会・東近江市

— 東近江市の花「紫草」は、日本最古の歴史書「日本書紀」において、天智7年(668)年の5月5日に、天智天皇一行が蒲生野へ「薬獵」へ訪れた公式記録として登場します。

そこで詠まれた、額田王(ぬかたのおおきみ)と大海人皇子(おおあまのおうじ)の「相聞歌(お互いに詠い合った歌)」は、日本最古の歌集「万葉集」に収録されている、日本一有名な「愛の歌」です。

日本最古にして、日本唯一の「市の花ムラサキ」を、50年後の未来の子ども達へつないでいきたい。

歴史に登場して1350周年を記念する「シンポジウムイベント」から、1400周年への未来をめざす。その一步を、共に歩んでみませんか? —



『あかねさす紫野行き 標野行き
野守は見ずや 君が袖振る』
額田王

『紫草の にほえる妹を 憎くあらば
人妻ゆゑに 我恋ひめやも』
大海人皇子

タイムスケジュール

13:30~13:40 開会

13:40~14:10 東近江ムラサキのあゆみ

14:10~15:30 トーク&コンサート

(宝塚市大使二人による ※「あかねさす紫の花」にまつわる東近江の万葉ロマンについて)

※「あかねさす紫の花」とは「中大兄皇子(天智天皇)」と

「大海人皇子(天武天皇)」の2人に愛された、「額田王」との恋愛模様を描いた、宝塚歌劇団1976年初演のミュージカル作品。

同時開催イベント

親子で紫根染体験

10:00~12:00

対象: 親子(小学生以下)

参加費: 無料

場所: 蒲生コミュニティセンター工芸室

申込方法: 下記事務局まで

FAXもしくはメール

要予約
— 先着 —
10組



小学生のご来場者にお土産プレゼント!!



紫草のロマンをモチーフにした和菓子「あかね」をプレゼント。(お帰りの際出口でお渡しします)

開催地: あかね文化ホール 東近江市市子川原町 461 番地 1

事務局: 東近江ムラサキ紫縁プロジェクト

FAX: 0748-56-1194 MAIL: murasakino.organic@gmail.com